

8・6ヒロシマ

会った感じた

米国が広島に原爆を落として74年の6日、多くの人が平和記念式典に参列し、核兵器のない平和な世界の実現を願いました。

私たちは石川さんの取材に同行しました。兵庫県の遺族代表として平和記念式典に参列した芦屋市の山村整司さん(77)と会い、雨の中で原爆慰霊碑に参列する写真を撮っていました。

地方紙記者に同行 「実情学ぶ意欲伝わった」

ジュニアライターが

全国の地方紙記者を広島市が招いた国内ジャーナリスト研修「ヒロシマ講座」に神戸新聞の石川翠さん(31)が参加していました。



式典終了後に山村さん(左)にインタビューする石川記者

11月の法王訪問心のおもてなし 慰霊碑説明板を刷新へ

広島西ロータリークラブ(RC)が、原爆慰霊碑(広島市中区平和記念公園)に並ぶ原爆慰霊碑の説明板を新たに製作し、10月末に取り替える。

平和の池の水中に並べているガラス製(縦横60センチ)の8枚。日英のほか、ロシア、フランス、ドイツ、イタリア、中国、韓国の各



原爆慰霊碑の前に並ぶ多言語説明板(左から3人目)たち

外国人観光客 8人の声紹介

ジュニアライターは、平和記念式典に参列するなどした外国人観光客の声を集めました。

怒りより平和 争いより対話

ガリ・ジェルマイソンさん(32)はスペイン人。広島での経験を記録するために、原爆ドームの絵をスケッチブックに描いた。



ガリ・ジェルマイソンさん(32)はスペイン人

歴史学び理解が大切

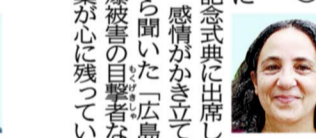
ローラン・ペイリさん(28)は英国人。広島で起こったことは一度と起きてほしくない、とても感情的になった。



ローラン・ペイリさん(28)は英国人

原爆の残酷さを実感

フェリス・タンさん(66)はフィリピン人。広島に原爆が落とされたのは、いろいろな意味で、いろいろな思いが詰まっていた。



フェリス・タンさん(66)はフィリピン人

式典 感情かき立てられた

マリック・メンデイスさん(55)はスリランカ人。原爆の日に合わせて広島に来たい、という長年の願いをついにかなえた。



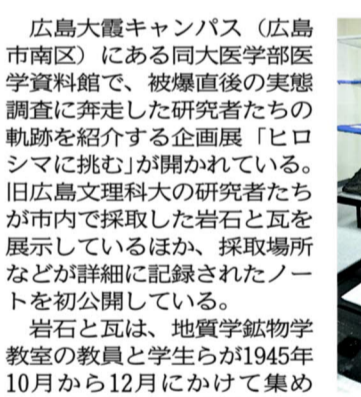
マリック・メンデイスさん(55)はスリランカ人

被爆直後の岩石 執念の収集

広島大医学資料館 記録ノートを初公開。広島大霞キャンパス(広島市南区)にある同大医学部医学資料館で、被爆直後の実態調査に奔走した研究者たちの軌跡を紹介する企画展「ヒロシマに挑む」が開かれている。

被爆直後の岩石 執念の収集

広島大医学資料館 記録ノートを初公開



秀氏が記録したノートを持ち、展示について話す久保田助教

この取材は、高3藤井志穂、高2伊藤淳仁、及川陽香、川岸真織、佐藤茜、目黒美貴、庄野愛梨、フィリックス・ウォルシュ、高1風呂橋由里、森本柚衣、木原里奈、中3岡島由奈、桂一葉、林田愛由、中2中島優野、中1田口詩乃、俵千尋、山瀬ひろが担当しました。

「語り継ぐ大切さ知った」 石巻の生徒のとうろう流し取材



とうろうに書いたメッセージを見せ合う宮城県石巻市の中学生グループ

今回は9月16日に掲載します。ヒロシマ平和メディアセンターのホームページに、外国人アンケートの他の回答も掲載しています。

40th Anniversary 日本棋院 広島県本部 創立40周年記念イベント 8月25日(日) 10時~17時 中国新聞ビル7階

中国新聞を切って、貼って、トライしよう! しんぶん学習帳 10日間コース 小学生のうちから身に付けたい!すべての教科の基礎力となる 思考力・読解力・要約力がぐんぐん伸びます。